



危険物取扱者試験「乙種」

高校在学時に全6種合格

加藤 日美呼 さん



PROFILE

かとう ひみこ (中町)
御前崎中学校→池新田高校

合格率1%の難関を突破

加藤日美呼さんは、池新田高校在学時に危険物取扱者試験「乙種」の全6種に合格し、本年3月11日に試験機関である消防試験研究センターから表彰状を授与された。

危険物取扱者は、消防法に定められた危険物を取り扱ったり、危険物の取り扱いに立ち会ったりするために必要な国家資格である。危険物には私たちの生活に必要な不可欠なものも多く、自動車の燃料となるガソリンや石油ストーブに使用する灯油などが含まれる。同センター静岡県支部によると、普通科の高校生が全6種に合格するのは珍しく、合格率は1%ほどだという。

資格取得に楽しさ覚える

「資格があると就職に有利で、働き出してから役に立つ」と整備士の兄・友英さんから聞いていた加藤さんは、高校入学後すぐに資格取得を目指して勉強を開始した。日々の努力が実り、1年時にワープロ検定準2級を取得。「一生懸命勉強した結果が出てうれしかったです。この頃

から、より多くの資格を取りたいと考えるようになりまして」と当時を振り返る。

2年生になると学校設定科目の「危険物取扱」を受講。授業中はもちろん、放課後も学校や家で過去に出題された問題をひたすら解いたり、参考書の要点をノートに書き取ったりを繰り返した。時には勉強がたつらくなることもあったというが、「これくらいで悩んでいたらダメ。私よりも頑張っている人がいる」と自らを鼓舞した。母・高子さんから背中を押してもらったことも勉強のモチベーションにつながった。加藤さんは取得した免状と表彰状を見て「これまでの努力がこうして形になりました。やりきったという気持ちです」と達成感を口にした。

仕事と両立して資格取得に挑戦

茶製造業に従事している加藤さんは現在、電気工事士の資格取得を目指して勉強中だ。「いまの仕事には直接関係しません、この資格を取れば格好良いと思って」と意欲を見せる。加藤さんの歩みはまだまだ止まらない。